

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 25 日	
福島県知事 内 堀 雅 雄 殿	
	提出者 住 所 福島県会津若松市追手町 5 番 3 6 号 氏 名 会津土建株式会社 代表取締役 菅 家 忠 洋 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0 2 4 2 - 2 6 - 4 5 0 0
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	会津土建株式会社
事業場の所在地	福島県会津若松市追手町 5 番 3 6 号
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	中分類 総合工事業 小分類 一般土木建築工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 5 0 億円 (令和 6 年度実績)
③ 従業員数	6 0 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建設現場 → 汚泥・廃プラスチック・紙くず・繊維くず・金属くず ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 建設系混合廃棄物・がれき類・木くず・燃え殻 管理型混合廃棄物 →中間処理委託 (再生利用) →最終処分委託 (埋立) →中間処理 (焼却・破碎等) を 経て最終処分委託 (埋立) → 動植物性残渣 石綿含有産業廃棄物 →最終処分委託 (埋立)

(第2面)

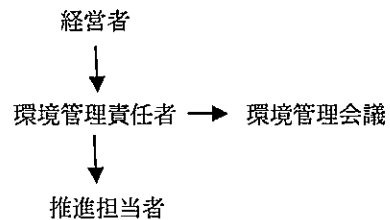
産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産廃担当役員（取締役）：産廃物の管理運営の総括業務

産廃管理担当（総務部）：監督官庁への各種報告
 :委託契約の締結
 :社員に対する教育
 :その他関係する事項

産廃担当（土木・建築部）：産廃管理票の交付管理



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり

産業廃棄物の種類

排 出 量

t

t

（これまでに実施した取組）

受注量によって排出量が変わるため、排出量の目標数値設定が難しい。各現場で発生したものは、産廃業者に委託の上、適切な処理を行う。

② 計画

【目標】 別紙のとおり

産業廃棄物の種類

排 出 量

t

t

（今後実施する予定の取組）

発注者と協議のうえ、施工方法を工夫するなど発生量の抑制を目指す。発生したものは分別を徹底し適切な処理を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
 土木・建築各現場で分別を徹底している。

③ 計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
 引き続きの分別の徹底。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
② 計画	(これまでに実施した取組)		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者に処理を委託していた。		

(第5面)

② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き可能な限り再生利用業者に処理を委託する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状【前年度(令和6年度)実績】							
産業廃棄物の種類	汚泥	有機性汚泥	建設汚泥	廃プラスチック類	塩化ビニル製建設資材	木くず	建設工事の木くず
排出量(t)	16.06	1.12	8.00	19.83	2.93	27.44	63.64
②計画【目標】							
産業廃棄物の種類	汚泥	有機性汚泥	建設汚泥	廃プラスチック類	塩化ビニル製建設資材	木くず	建設工事の木くず
排出量(t)	10.00	1.00	5.00	15.00	3.00	25.00	60.00

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状【前年度(令和6年度)実績】							
産業廃棄物の種類	汚泥	有機性汚泥	建設汚泥	廃プラスチック類	塩化ビニル製建設資材	木くず	建設工事の木くず
全処理委託量(t)	16.06	1.12	8.00	19.83	2.93	27.44	63.64
優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.00	1.12	0.00	17.41	2.93	0.35	1.83
再生利用業者への処理委託量(t)	16.06	0.00	8.00	2.42	0.00	27.09	61.81
認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0
②計画【目標】							
産業廃棄物の種類	汚泥	有機性汚泥	建設汚泥	廃プラスチック類	塩化ビニル製建設資材	木くず	建設工事の木くず
全処理委託量(t)	10.00	1.00	5.00	15.00	3.00	25.00	60.00
優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.00	1.00	0.00	13.00	3.00	1.00	1.00
再生利用業者への処理委託量(t)	10.00	0.00	5.00	2.00	0.00	24.00	59.00
認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0

(別紙)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状【前年度(令和6年度)実績】							
産業廃棄物の種類	伐採材	繊維くず	金属くず	ガラスコンクリート陶磁器	ガラスくず	廃石膏ボード	計
排出量(t)	85.25	0.97	140.24	7.04	0.11	29.89	402.52
②計画【目標】							
産業廃棄物の種類	伐採材	繊維くず	金属くず	ガラスコンクリート陶磁器	ガラスくず	廃石膏ボード	計
排出量(t)	80.00	1.00	100.00	7.00	0.50	30.00	337.50

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状【前年度(令和6年度)実績】							
産業廃棄物の種類	伐採材	繊維くず	金属くず	ガラスコンクリート陶磁器	ガラスくず	廃石膏ボード	計
全処理委託量(t)	85.25	0.97	140.24	7.04	0.11	29.89	402.52
優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.39	0.00	0.32	3.19	0.00	13.39	40.93
再生利用業者への処理委託量(t)	84.86	0.97	139.92	3.85	0.11	16.50	361.59
認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0
②計画【目標】							
産業廃棄物の種類	伐採材	繊維くず	金属くず	ガラスコンクリート陶磁器	ガラスくず	廃石膏ボード	計
全処理委託量(t)	80.00	1.00	100.00	7.00	0.50	30.00	337.50
優良認定処理業者への処理委託量(t)	1.00	0.00	10.00	4.00	0.00	20.00	54.00
再生利用業者への処理委託量(t)	79.00	1.00	90.00	3.00	0.50	10.00	283.50
認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0

(別紙)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状【前年度(令和6年度)実績】							
産業廃棄物の種類	がれき	コンクリート破片	アスファルト・ コンクリート 破片	建設混合廃 棄物	解体系混合 廃棄物	安定型建設混 合廃棄物	管理型建設混 合廃棄物
排出量(t)	336.38	1,543.31	1,815.71	2.15	0.15	26.66	28.42
②計画【目標】							
産業廃棄物の種類	がれき	コンクリート破片	アスファルト・ コンクリート 破片	建設混合廃 棄物	解体系混合 廃棄物	安定型建設混 合廃棄物	管理型建設混 合廃棄物
排出量(t)	300.00	1,300.00	1,600.00	2.00	0.50	25.00	25.00

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状【前年度(令和6年度)実績】							
産業廃棄物の種類	がれき	コンクリート破片	アスファルト・ コンクリート 破片	建設混合廃 棄物	解体系混合 廃棄物	安定型建設混 合廃棄物	管理型建設混 合廃棄物
全処理委託量(t)	336.38	1,543.31	1,815.71	2.15	0.15	26.66	28.42
優良認定処理業者への 処理委託量(t)	11.29	0.00	0.00	2.15	0.15	26.66	21.48
再生利用業者への 処理委託量(t)	325.09	1,543.31	1,815.71	0.00	0.00	0.00	6.94
認定熱回収業者への 処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0
②計画【目標】							
産業廃棄物の種類	がれき	コンクリート破片	アスファルト・ コンクリート 破片	建設混合廃 棄物	解体系混合 廃棄物	安定型建設混 合廃棄物	管理型建設混 合廃棄物
全処理委託量(t)	300.00	1,300.00	1,600.00	2.00	0.50	25.00	25.00
優良認定処理業者への 処理委託量(t)	20.00	0.00	0.00	2.00	0.50	25.00	25.00
再生利用業者への 処理委託量(t)	28.00	1,300.00	1,600.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者への 処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0

(別紙)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状【前年度(令和6年度)実績】							
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物泥状	石綿含有産業廃棄物がれき類	水銀含有廃棄物				計
排出量(t)	0.56	23.15	0.02				3,776.51
②計画【目標】							
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物泥状	石綿含有産業廃棄物がれき類	水銀含有廃棄物				計
排出量(t)	0.50	20.00	0.10				3,273.10

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状【前年度(令和6年度)実績】							
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物泥状	石綿含有産業廃棄物がれき類	水銀含有廃棄物				計
全処理委託量(t)	0.56	23.15	0.02				3,776.51
優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.56	14.42	0.00				76.71
再生利用業者への処理委託量(t)	0.00	8.73	0.02				3,699.80
認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0				0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0				0
②計画【目標】							
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物泥状	石綿含有産業廃棄物がれき類	水銀含有廃棄物				計
全処理委託量(t)	0.50	20.00	0.10				3,273.10
優良認定処理業者への処理委託量(t)	0.50	15.00	0.00				88.00
再生利用業者への処理委託量(t)	0.00	5.00	0.10				2,933.10
認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0				0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0	0	0				0